

# ゴミユニティメール 第33号



春です！！この時期は、進級、進学、転勤などでたくさんのごみが出ます。

ごみの中には資源となる物が多く捨てられています。正しい分別を心掛けて、ごみ減量・資源化にご協力をお願いします。

## → 教科書、ノート、プリントなどは？

教科書、ノート、プリント(コピー用紙)などは「資源ごみの日」に雑誌と一緒に出せます。封筒やレシート、汚れた紙は「燃やすごみ」に出してください。



【資源になる紙類】  
教科書、ノート、雑誌、新聞紙、チラシ、コピー用紙、トイレットペーパーの芯など

また、家庭から出される資源ごみは資源集団回収にも出すことが可能です。資源集団回収は市民と行政が協力しごみ減量と資源化を進める取組みです。活動団体には回収量に合わせて奨励金が支払われ、町内会や団体の活動資金として利用されています。

平成27年度の回収量が一番多かった三友中央町内会の取組みをご紹介します。

裏面をご覧ください

## → 制服、衣類などの布製品を出すには？

ご不要になった制服は新入生や後輩に譲るなどのリユース(再利用)をすることをお勧めします。衣類は、燃やすごみになりますが、ごみとして出す前にリサイクルショップや下記の団体で回収しリサイクルされていますので、お問合せしてはいかがでしょうか。

- 障害福祉サービス事業所 ちあふる 電話66-7247 場所 帯広市西5条南31丁目1-9 平日の9時から18時。
- NPO法人 ほっと・ぷらっと 電話25-5004 場所 帯広市西4条南7丁目3-1 木曜休み 10時から16時。

## → かばん、靴、おもちゃなどを出すには？

かばん(革製)、靴(布製、ゴム製も含む)、おもちゃなどは「燃やさないごみ」で出してください。CD、DVD、ビデオテープなどとそのケースも「燃やさないごみ」になります。



## お知らせ

4月から、一部地域のごみ・資源ごみの収集業者が変わります。安全性や効率を考慮して収集路線を一部見直したため、収集時間が変わる地域もありますが、今まで通りに朝9時までに排出して下さい。

なお、分別や収集日等に変更はありません。

※ホームページでは地区ごとの収集業者が確認できます。

※お問い合わせは清掃事業課にお気軽にご連絡ください。





# 活動団体の紹介～三友中央町内会～

資源集団回収は、良質な資源が集まるメリットに加えて、コミュニティの醸成にもつながります。今回は、平成27年度の資源集団回収実績第1位「三友中央町内会」の活動についてご紹介します。

## ＜団体情報＞

- 世帯数 207世帯
- 回収品目 新聞紙・雑誌・ダンボール・鉄類  
・アルミニウム・カレット
- 回収場所 専用テント(公園に隣接する空き地)、各家庭の前
- 回収頻度 月1回(第3日曜日)

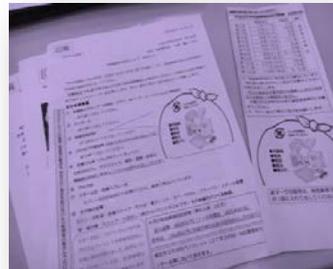
## ●回収実績



年度	奨励金支払額	回収重量	順位
H24	254,667円	60,635kg	4位/734
H25	304,437円	72,485kg	3位/739
H26	292,055円	69,537kg	2位/742
H27	285,423円	67,958kg	1位/739

## ① 集団回収の実施方法や工夫を教えてください。

・年12回実施。毎月第3日曜日を回収日と定め、各班が年1回は当番になるよう割り当てています。



←左：回覧板、町内会だよりで町内会活動のお知らせ

右：柱や冷蔵庫にも貼れる、短冊サイズの日程表。全戸配布。

- ＜工夫＞
- ★短冊サイズの集団回収日程表を全戸配布
  - ★毎月、町内会だよりで回収日のお知らせ
  - ★当番班へは10日前に回覧で回収日のお知らせ
  - ★作業の合間にゴミ分別のお勉強会を実施



↑資源庫の資源の「仕分け作業」

↑資源は資源庫に保管

・自宅前と町内会専用の資源庫に出たものを回収します。  
 【自宅前】・・業者が戸別収集。当番班も積み込みの手伝い。  
 【資源庫】・・町内会で確保した場所に、資源を保管するための専用の資源庫(テント)を設置。当番と参加者で、集まった資源の仕分けをしていく。



←資源の仕分け後は、ゴミ分別の「お勉強会」

当番班は業者と一緒に積み込みの手伝い→



## ③ 大切にしていることは？

同じ班の人や、せめてお隣さんの顔だけでも覚えてもらいたい、という思いで町内会活動を支えてきました。地域のつながりを強めることで、**防災・防犯**につながるほか、こどもからお年寄りまで幅広い世代の情報交換の場にもなります。

## ② 苦労していることはどんなことですか？

### ★高齢化

→50代以下の参加者が少なく、集団回収などの力作業が体力的に厳しい。

### ★町内会未加入の若者が多い(単身・賃貸住まい)

→世代交代ができないため、現役の高齢役員の負担が大きくなっている。



三友中央町内会の皆さんは、資源集団回収を通して地域のつながりや町内会活動を活発にしているんですね。また、地域のつながりが強まり、町内会活動が活性化されることによって資源集団回収も推進されていくという、良い循環が作られているのだからわかりました。皆さんもどうぞ参考にしてくださいね。



↑三友中央町内会会長の宮下さんと環境衛生部長の佐藤さん